

視聴覚教育

No. 102

発行日 59.5.11

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

新年度を歓迎して

太田憲吾

今年度も月報視聴覚教育をおとごけしたい。年間十回の発行予定である。市内各学校の実践報告を始め、今月の教材紹介、調査・研修報告・ライブラフリーダより等を掲載する。

一方通行にならずに、みなさんからの意見をいただきたい。教材の充実は、各学校の充実計画と相まって、こゝ数年間、格別な市の高配によって、校内放送の自動システム化、中学校へアンプライバー設置、視聴覚教室の新設等、急速に進められ、教育効果を上げるのに役立っていることほありがたいことである。

本年度は、校内映像放送双方向システムの第二年度を迎える。

また、社会科部との共作による、自作ビデオ教材五ヶ年計画の最終年度、すでに撮影も開始されている。自作教材制作グループの熱意ある活動に感謝申しあげたい。

岡崎市ライブラフリーは、三十周年の記念の年であり、記念誌の発行、映像フェスティバルの記念行事が開催される。

各方面での協力ご援助をお願い申しあげたい。

視聴覚部の研究主題などについては、次ページに記してあるが、各学校においては、それぞれ研究テーマをもって、熱心な研究を進められ、今年度も、松下視聴覚教育研究財団よりの研究助成を受けられる学校が四校（六ツ美中学校「わかる・できる・生きいきした授業を求めて」、南中学校「生徒に活力を与える教育機器の活用」、山中小学校「たしかな表現のできる子の育成」、常磐南小学校「できる喜びを追求する教育活動」）もあることは真に喜ばしいことである。

昭和59年度 視聴覚関係

各種大会・研修会のお知らせ

今年度も、左記のような研修会や研究大会などが各地で開催されます。ぜひ、多くの先生方が参加されるよう望みます。

・愛知県小中学校視聴覚教育大会 10月16日 名古屋市

・放送教育研究全国大会 11月15～16日 大津市

・学校視聴覚教育全国大会 11月21～22日 武蔵野市

・愛知県放送教育特別研究会 8月13～14日 名古屋市

研究方針と組織決まる

《今年度の研究主題》

一 視聴覚教材・教材を生かした授業のあり方を追求しよう

《研究の重点》

- ① 学習意欲と視聴能力を高める放送学習の実践
- ② 授業で生かせる自作視聴覚教材の制作とその活用
- ③ 視聴覚教室やアナライザー教室の総合的な活用
- ④ 校内放送における双方向システム利用法の研究

《組織》

部長	太田 憲吾（大樹寺小長）	運営委員
副部長	畑中 賢一（常磐中長）	後藤 晶基（矢北中）
副部長	加藤 義夫（山中小長）	小出 明（愛宕小）
副部長	野村 鉦吉（常磐東小長）	清水 弘（広幡小）
指導員	牧野 伊佐夫	桑木富士子（大樹寺小）
世話係	江坂 良夫（岩津小）	石川 誠一（矢南小）
	高木 和宏（美川中）	市橋 章男（城北中）
ライブラリー職員		
	宮田 典彦	山内 薫

今月の教材

— 自作映画・録画 —

- ◎ 中学一年社会科（歴史）
- ・ 発掘調査を追って—岩津前田遺跡—（58年 15分）
- ・ 遺跡発掘の様子を紹介し遺跡への興味関心を高める。
- ◎ 小学校四年生社会科
- ・ ごみのゆくえ（57年 15分）
- ・ ごみがどのように処理されていくかを理解させる。

ライブラリー

「ダビングのサーブिस」を行っていただきます。

自作ビデオ教材や、学習指導要領連表内の番組のダビングを行っていただきます。テープの背に、番組名・副題・校名を書いて、ライブラリーへ送って下さい。4日程で出来あがりです。（一番組一本のテープに限ります。）

人事異動

四月の異動により、長くご指導いただいた加藤憲尚先生は、六ッ美中へ、また紅一点の山田智恵子さんは、社会教育課へと新しい道へ進まれました。代わって、三島小より指導員として牧野伊佐夫先生、竜海中より山内薫氏が来ていただけました。前任同様によりよくお願いします。

▼プロフィール ▲ 〇牧野伊佐夫…視聴覚指導員・46才・2男2女

の良き父。〇山内薫…31才・趣味は星や花の写真撮影など多数。